

平成30年度

近畿地方整備局研究発表会

【受賞者一覧表】

優秀賞28課題

奨励賞12課題

【実施報告】

優秀賞 (28課題)

一般部門 (安全・安心) I

発表会場4: 第1別館3階302共用会議室
○は発表者

| 連番 | No. | 論文名 | 発表者 所属 | 氏名 |
|----|-----|--|---|--|
| 1 | 5 | 設計図書のない既設橋梁のウイング補修設計における一考察 ～名阪国道 福住跨道橋～ | 奈良国道事務所 | 管理第二課 水野 千恵 |
| 2 | 9 | 実負荷運転から得た高山ダムクレストゲートの健全度評価 | 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 | 高山ダム管理所 内田 颯太 |
| 3 | 10 | 治山事業におけるシカ食害対策について | 近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所 近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署 | 十津川治山事業所 紀伊田辺治山事業所 ○小林 正典 岡井 邦仁 |
| 4 | 13 | 六甲山系グリーンベルト事業地におけるナラ枯れ被害対策について | 琵琶湖河川事務所 | 明見 章史 |
| 5 | 22 | 毛馬排水機場ポンプ設備の健全度を評価する項目の整理 | 淀川河川事務所 兵庫国道事務所 | 施設管理課 管理第二課 辻野 直義 栗山 大生 |

一般部門 (安全・安心) II

発表会場2: 第1別館2階202共用会議室
○は発表者

| 連番 | No. | 論文名 | 発表者 所属 | 氏名 |
|----|-----|--------------------------------------|------------------------------|-----------------|
| 1 | 3 | 排水作業準備計画の作成について | 大和川河川事務所 | 調査課 米田 直起 |
| 2 | 4 | 市川における斜め堰と水制工による治水効果を踏まえた河道改修について | 兵庫県 姫路土木事務所 | 河川砂防課 高橋 伸明 |
| 3 | 9 | 三重県紀宝町におけるコミュニティタイムライン策定に向けた取り組みについて | 紀南河川国道事務所 | 調査課 川嶋 智和 |
| 4 | 15 | 自治会と連携したマイ防災マップ作成の取り組みについて | 枚方出張所管内 河川レンジャー 枚方市桜町 自治会 | ○山口 遼太 神野 茂彦 |
| 5 | 16 | 流砂水文観測技術を活用した天然ダム監視観測方法の検討 | 大規模土砂災害対策技術センター | 田中 健貴 |

一般部門 (活力)

発表会場3: 第1別館2階203共用会議室
○は発表者

| 連番 | No. | 論文名 | 発表者 所属 | 氏名 |
|----|-----|---|----------------|------------------------------------|
| 1 | 9 | 地域と連携した戦略的な事業周知の取組 ～上野遊水地事業の挑戦～ | 木津川上流河川事務所 | 工務課 伊賀上野出張所 ○細川 晋 木村 龍之介 |
| 2 | 16 | 天然記念物イタセンパラの野生復帰を目指して ～平成6年調査開始以来最多となる稚魚数を確認するまでの道のり～ | 淀川河川事務所 | 河川環境課 清重 亜美 |
| 3 | 19 | 訪日外国人旅行者によるレンタカー利用実態調査 | 企画部 淀川河川事務所 | 広域計画課 沿川整備課 ○森野 由愛 松原 明日香 |
| 4 | 21 | 近畿初 道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とした自動運転バスによる公道での実証実験について | 奈良国道事務所 | 中村 隆之 |

優秀賞 (28課題)

イノベーション部門 I

発表会場5: 第1別館3階303共用会議室
○は発表者

| 連番 | No. | 論文名 | 発表者 所属 | 氏名 |
|----|-----|---|--------------|---------------------------------------|
| 1 | 3 | 塩分吸着型エポキシ樹脂コンクリート補修材(ハイブリッドエポキシ樹脂)の性能及び適用事例について | 日本国土開発株式会社 | ○千賀 年浩 山内 匡 |
| 2 | 8 | 超緻密高強度繊維補強コンクリートによる床版補修工事について | 京都府 中丹東土木事務所 | つねおか のぶき 常岡 信希 |
| 3 | 15 | ICT浚渫工(河川)の出来形管理基準策定の検討 | 姫路河川国道事務所 | やまぐち あつひさ 山口 敦久 |
| 4 | 18 | 導坑から地山改良を行い脆弱な盛土直下を掘削したトンネルの事例報告 | 道路部 河川部 | たなか とみひろ 田中 富博 ○かとう しょう 加藤 翔 |

イノベーション部門 II

発表会場6: 第1別館3階304共用会議室
○は発表者

| 連番 | No. | 論文名 | 発表者 所属 | 氏名 |
|----|-----|--|---------------------------|--|
| 1 | 2 | 既設大規模空間への空調設備設置に関する検討について | 兵庫県 | いけだ やすし 池田 泰 |
| 2 | 6 | 維持管理を考えた電気通信・機械設備におけるCIMの活用について | 琵琶湖河川事務所 福井河川国道事務所 | ○はら ひろたか 原 裕貴 さきはら いさお 先原 勲 |
| 3 | 13 | 木津川ダム総合管理所におけるCIMfam-I(管理におけるCIM)について ～管理の省力化・効率化・高度化を目指して～ | 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 | ○そうま なるき 相馬 成樹 にわ けんいち 丹羽 賢一 |
| 4 | 14 | 河川管理全般での活用をめざした福井河川国道事務所版CIMガイドライン(案)について | 福井河川国道事務所 | ○わたなべ としお 渡邊 俊夫 やまもと かずひろ 山本 一浩 |
| 5 | 22 | 下水汚泥固形燃料化事業について ～下水汚泥が電気に生まれ変わります～ | 京都府 | まなみ かずき 真見 一樹 |

アカウントビリティ・行政サービス部門

発表会場7: 新館3階A会議室
○は発表者

| 連番 | No. | 論文名 | 発表者 所属 | 氏名 |
|----|-----|---|------------------------|---|
| 1 | 8 | 「事務所」におけるSNSを用いた災害時に効果的な情報発信について | 和歌山県土整備部道路局 総務部 | ○まつおか りな 松岡 里奈 むらおか ひろし 村岡 宏 |
| 2 | 15 | 樋門等の情報共有に関するとりくみについて | 和歌山河川国道事務所 琵琶湖河川事務所 | ○やすだ ゆうすけ 安田 有佑 よしの こうへい 吉野 晃平 |
| 3 | 16 | 新たな発見! 女子が見る天ヶ瀬ダム再開発事業 ～けんせつ小町補完計画～ | 琵琶湖河川事務所 河川部 | ○なかにし りえ 中西 理瑛 うすい よしゆき 臼井 義幸 |
| 4 | 22 | 港湾関連団体と協力した、担い手確保のための取り組み「オープンキャンパス阪神港」について | 大阪港湾・空港整備事務所 | くの たかゆき 久野 貴之 |
| 5 | 23 | 『下水道を知ってもらおう!』地域住民へ向けた取り組みについて | 中林建設株式会社 | ながやま ひろもと 永山 裕元 |

奨励賞(12課題)

一般部門(安全・安心) I

発表会場4: 第1別館3階302共用会議室
○は発表者

| 連番 | No. | 論文名 | 発表者 所属 | 氏名 |
|----|-----|-----------------------|--------------|------------------|
| 1 | 11 | 上野遊水地における塵芥処理について | 木津川上流河川事務所 | ○ 穴山 悟司 青木 勇樹 |
| 2 | 23 | 工事現場をバックアップする安全管理について | 株式会社大林組 大阪本店 | みやもと ゆたか 宮本 裕 |

一般部門(安全・安心) II

発表会場2: 第1別館2階202共用会議室
○は発表者

| 連番 | No. | 論文名 | 発表者 所属 | 氏名 |
|----|-----|--|--------------------------|--|
| 1 | 10 | 円山川災害対策支援システムについて | 九頭竜川ダム統合管理事務所 兵庫国道事務所 | ○ 玉村 正幸 湯浅 武 |
| 2 | 22 | 本庄川水門の計画概要 ～淡路島南部に建設する兵庫県内初の津波 対策水門～ | 兵庫県 | けんど せいびぶ けんど きくきよく 県土整備部県土企画局 総務課 しまおか あきお 島岡 明生 |

一般部門(活力)

発表会場3: 第1別館2階203共用会議室
○は発表者

| 連番 | No. | 論文名 | 発表者 所属 | 氏名 |
|----|-----|---|----------|---|
| 1 | 4 | 琵琶湖河川事務所における河川植生に関連 した課題への取り組みについて | 琵琶湖河川事務所 | ○ こが やすひで 松井 大生 |
| 2 | 15 | クルーズ船寄港による地域活性化を目指す 「みなとオアシスごぼう」プロジェクトについて | 和歌山港湾事務所 | きかく ちようせいか 企画調整課 いわはら かつひと 岩原 克仁 |

イノベーション部門 I

発表会場5: 第1別館3階303共用会議室
○は発表者

| 連番 | No. | 論文名 | 発表者 所属 | 氏名 |
|----|-----|--|------------|--|
| 1 | 1 | 国道2号淀川大橋の大規模修繕について(中 間報告) | 大阪国道事務所 | おおまえ としお 大前 利夫 |
| 2 | 11 | 河川堤防の除草コスト削減を旨とした長大な 堤防植生試験について(報告) | 福知山河川国道事務所 | ○ ふじい あやか 藤井 彩加 あやべ もとむら 綾部国道維持出張所 本村 洋介 |

イノベーション部門 II

発表会場6: 第1別館3階304共用会議室
○は発表者

| 連番 | No. | 論文名 | 発表者 所属 | 氏名 |
|----|-----|--|--------------------|--|
| 1 | 3 | 平成25年台風18号を踏まえた防災対策の高 度化 | 淀川河川事務所 大阪国道事務所 | ○ きせ たつや 木瀬 龍也 てらうち ゆうき 寺内 夕希 |
| 2 | 20 | 176号名塩道路 武庫川張り出し橋の橋種選 定について(張り出し橋の中間支間に架け替 える西宝橋が接続) | 兵庫国道事務所 | けいかくか 計画課 たるい みなみ 樽井 美奈実 |

アカウントビリティ・行政サービス部門

発表会場7: 新館3階A会議室
○は発表者

| 連番 | No. | 論文名 | 発表者 所属 | 氏名 |
|----|-----|---------------------------------------|------------|--------------------------------------|
| 1 | 5 | 道路の計画段階におけるコミュニケーションプ ロセスの実践と今後の展開 | 姫路河川国道事務所 | ちようさか 調査課 むかい かずや 向 和哉 |
| 2 | 7 | 相長川水門の愛称決定について ～ゆめ100プロジェクトの実現～ | 福知山河川国道事務所 | ○ つつみ まや 堤 菜彌 ゆば しげかず 弓場 茂和 |

平成30年度 近畿地方整備局研究発表会 実施報告

- 6月28日(木)、29日(金)の2日間に亘って開催されました研究発表会では、6部門135課題の発表があり、審査の結果、優秀賞28名、奨励賞12名を選定し表彰。
- 28日(木)には「職員の描く近畿のゆめプロジェクト発表会」を開催し、68件の応募・提案があり、審査の結果、局長賞1件、副局長賞2件、各部長賞8件、特別賞1件を選定し表彰。
- 2日目の特別講演においては、約250名の聴講の中、「AIの建設分野における可能性～AIの現状認識と将来展望～」と題して、関西大学古田均教授にご講演をいただきました。

1. 部門別発表課題数（6部門 135課題）

| | |
|---------------------|---------------|
| 研究発表会 | 135課題 |
| 一般部門(安全・安心)Ⅰ | 23課題 |
| 一般部門(安全・安心)Ⅱ | 23課題 |
| 一般部門(活力) | 21課題 |
| イノベーション部門Ⅰ | 21課題 |
| イノベーション部門Ⅱ | 23課題 |
| アカウンタビリティ・行政サービス部門 | 24課題 |
| 職員の描く近畿のゆめプロジェクト発表会 | 68提案(掲示のみ6提案) |

2. 機関別発表課題数

| 機 関 名 | 課題数 |
|-----------------------|-------|
| 整 備 局 | 89課題 |
| 他 省 庁 ・ 自 治 体 | 27課題 |
| そ の 他 (法 人 、 民 間 等) | 19課題 |
| 計 | 135課題 |

3. 聴講者数（受付済数）

| 区分 日時 | 一般 | 整備局 | 自治体 | 関係機関 | 合計 |
|----------|-----|-----|-----|------|-----|
| 28日(木) | 204 | 268 | 57 | 25 | 554 |
| 29日(金) | 150 | 105 | 24 | 12 | 291 |
| 合計 | 354 | 373 | 81 | 37 | 845 |

※各部門の延べ聴講人数は約6,700名。

4. 特別講演等

1) 「関西大学 古田均教授」の特別講演

- 「AIの建設分野における可能性～AIの現状認識と将来展望～」と題して講演。
- 多数の聴講者(約250名)があった。

2) CPDS認定プログラム(H23年度より登録)

(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)に登録し、192名の方に受講証明を発行。

3) 技術展示

近畿地方整備局(技術管理課、技術調査課、計画調整課、近畿技術事務所、神戸港湾空港技術調査事務所)、独立行政法人水資源機構からパネル展示。